

千 種 地 区

世帯数 7,073 世帯
人口 14,355 人
男 7,756 人
女 6,699 人
令和 6 年 12 月 1 日現在

ちぐさ地区社協だより

2号

発 行

千種地区社会福祉協議会
発行責任者 鮎川 典雄
事務所 市原市千種 5-5-12
電話 080-5821-8546

新年おめでとうございます

皆さま、新年あけましておめでとうございます。

明るくかつ平穏な新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

千種地区社会福祉協議会は、昨年 4 月に創立して以来、諸々の活動を進めて参りました。

継続して実施している地域・こども食堂「わいわい」や、年 4 回行う「フードパントリー」に加えて、子育てサロン「はなカフェ」、「困りごと相談」として、毎月相談室開設などを行っています。更にこども見守り活動として、未就学児の子育て支援も始めました。

本年は上記に加え、「高齢者生活支援活動」と銘打って、ちょっとした生活上の困りごとを支援するプログラムを新たに計画しております。

千種地区社協の活動に対して、様々な方からたくさ



んご支援を頂いて参りました。
特にフードパントリーについては、お米をはじめ様々な食品や大量の子ども服などのご寄付を頂いております。
この場を借りてお礼申し上げます。

新紙幣が発行されて半年が経ちました。日本資本主義の父と言われる渋沢栄一は、一方で社会福祉活動の推進者としても名高い方です。

私たちの活動の源流が渋沢栄一翁にあるという事を頭の片隅に置きながら、今後の活動に繋げて参ります。

千種地区社会福祉協議会

会長 鮎川 典雄

ちぐさ地区社協の活動が始まりました

地域・こども食堂「わいわい」

12月14日（土）の地域・こども食堂「わいわい」は、クリスマス会をかねて、サンタのおじさん（達）やトナカイと一緒に参加しました。

いつものカレーライスの代わりに、パンやシチュー、ケーキでクリスマスの雰囲気を出してみました。

また、今回から地域の高齢者も、こどもたちと一緒に参加して下さいました。



ちぐさ地区社協はこんな活動もしています

フードパントリー

12月28日（土）には、千種コミュニティセンターで、フードパントリーが開かれました。

この活動は子育て家庭支援のために、千種コミュニティセンターに、地区の方からお届けいただいた寄付の他、市内の福祉団体や、企業、個人の有志からの寄付による食品や、日用品、子ども服を無償で配るものです。

今や、お米を始めとする食品もさることながら、子ども服などの雑貨の方が多くなっている状況です。

夏休み、冬休みなどの、学校の長期休暇の時期に、開かれます。

次は3月22日（土）の春休みの予定です。



困り事相談

毎月第一水曜日は、10時から地区社協の事務所（元の弥塩道）で困り事相談室を開いています

この日は赤ちゃん連れのお母さんが、地元での活動についての困り事相談に見えました。

その他にも、自分がかかえていた悩みごとの相談に何人も来られています。



はなカフェ

乳・幼児とパパ、ママを対象に、お茶をしながら楽しくおしゃべりをする憩いの場です。

この日は4組のパパ、ママとこども5人が参加してくれました。

ただおしゃべりをしたい人、お手伝いしたい人も大歓迎です。

今年度は、1月27日、2月17日に開きます。



ちぐさ地区社協のロゴとマスコットが決まりました

ちぐさ地区社協のシンボルになるロゴマークと、マスコットの「ちぐさちゃん」のデザインが決まりました。

昭和30年代に始まった海岸部の埋め立て前は、遠浅の海岸から大量のバカ貝が獲れ、大消費地の東京では、この貝を産地の「青柳」と呼んで、夕食のおかずにしていました。

今ではお寿司屋の高級食材です。

ロゴとマスコットは、このバカ貝をモチーフにデザインされたものです。

ロゴの青い色は、千種の名の起りである、万葉集に由来する海の色にちなんだものです。

千種の皆様も、どうぞこのマスコットとロゴを見かけたら可愛がってくださいようお願いいたします。

ロゴマーク



マスコット



社協の主催事業の予定(令和7年3月まで)

地域・こども食堂わいわい

1月11日(土)
2月 8日(土)
3月 8日(土)
千種コミュニティセンター



多目的室1 10時～13時

対象：小中学生他

参加費：100円

フードパントリー

3月22日(土)
千種コミュニティセンター
2階調理室



10時～12時

先着35人 参加費 無料

対象：子育て家庭

困り事相談室

1月 8日(水)
2月 5日(水)
3月 5日(水)
旧飲食店 弥塩道
10時～12時



対象：地域住民

一人で悩みを抱えずに気軽にご相談下さい。

はなカフェ

1月27日(月)
2月17日(月)
旧飲食店 弥塩道
10時～12時



乳・幼児とパパ、ママ

おしゃべりをしたい人、お手伝いをしたい人
いつでもお寄りください。

へえ、そうなの お雑煮のはなし

お正月のお雑煮は、関東と関西では大きな違いがあること、皆さんご存じでしょう。関西では丸餅に白みそ仕立て、関東では角餅にしょう油ですよね。



お雑煮はもともと京都から始まったもので、正月からカドをたてないよう丸くした、関東では気が短いから、一度にたくさんできるよう、角餅にしたとの説があります。四国の一部では丸餅の中にあんこを入れたものを白みその汁で食べるそうです。わが千種地区ではどうでしょうか。

元々の農村地帯だった内陸部と、海苔、貝などの海産物が産業の中心だった海岸地帯とで大きな違いがあるだろうと思って聞いてみました。

でも両地帯とも、角餅、大根、人参、里芋が主体で、鶏肉が入っていたり、いなかったりでほとんど同じでした。味付けはしょう油味で、食べる時におかかや、小松菜のみじん切（これは内陸）をかけるようです。

年配の男性に聞くと、「さあ、何かな。大根と里芋、あとなんだろう」と心細かったです。

でも、海側も内陸側も、昔はおかかと一緒に八バ海苔をかけたそうです。八バを効かせることが出来る様に、ということなのですが、皆さん一様に「けど八バは今高くてな〜」って怒ってました。



くれました。

ちぐさ社協便りの配布先

千種地区13町会に回覧を依頼

そのほかの配布先は

千種中、千種小、

市原市社協

五井地区社協、姉崎地区社協

民生児童委員協議会

社会福祉法人

個人的に欲しい方は下記どうぞ

千種コミュニティセンター

姉崎コミュニティセンター

ご寄付ありがとうございました。

匿名の方を含め沢山のの方々から御芳志を頂きました。お名前を頂戴している方について、そのお名前を掲載してお礼に代えさせていただきます。

(2023年)

石井 晃様(今津)

小出 真理様(青柳)

鮎川 ますみ様(中谷)

小泉 学様(柏原)

(2024年)

石井 晃様(今津)

弘教寺 様(姉崎)

光明寺 様(青柳)

石渡 正人様(柏原)

和田 様(米国)

小泉 学様(柏原)

平野 亜希様(柏原)



編集後記

普通、編集後記というのは、紙面の最後で、編集にかかった苦労話や、季節ネタ、編集者の個人的な思いなど、何を書いてても、まあよいとされています。

というより、あまり読む人もいないので、時には孤独を感じながら書いています。

でも、今回は編集子の十五年来の知人との別れについてお知らせします。

彼女は住んでいる地域の福祉活動のリーダー的存在で、広報紙もグループの中心になって作っていました。

数年前に一度体調を崩しながらも復帰し、活動を再開し、グループをけん引しながら広報紙も作っていました。とうとう帰らぬ人になりました。

編集子は彼女の仕事内容に、敬愛と感銘を感じておりました。

その感銘をこれからの仕事に活かしながら、恩返しの一助にしたいと考えています。

